

平成28年度 第1回総合教育会議 会議録

日時：平成28年7月27日(水) 午後3時15分～午後4時35分

場所：村民センター小会議室

<出席者>

村長	唐木一直
教育委員長	三澤 久夫
教育委員長職務代理者	清水 道直
教育委員	太田 光子
教育委員	林 百代
教育委員（教育長）	征矢 鑑
（事務局）	
教育次長	藤澤 隆
社会教育係長	西堀 英幸
学校教育係（記録者）	伊藤 泰子

以上9名

1. 開会

教育次長

開会に伴い南箕輪村と教育委員会との協議・調整の場となり、義務付けられていることを説明。

2. あいさつ

(1)村長

教育委員の皆さん、こんにちは。定例会の後、「第1回総合教育会議」ということで、お疲れさまです。今回は、大綱の改定、「南箕輪村こども館」についてのご意見をいただきましてありがとうございました。教育委員会は大きな事案を抱えています。9月議会にける準備を進めています。今日の教育環境は厳しいものがありますが、一番先に考えていかなければならないのは、子どもたちをどう育てていくのかということだと思います。家庭の経済状況等により格差が生じている学習機会の確保の問題、学力向上や人材育成の問題等、取り組んでいかなければならない課題が山積しています。お陰さまで、キャリア教育が本格的に進んでまいりました。若者がこの地域に戻ってきてもらえるのか。「郷土愛プロジェクト」で、かなり努力していただいています。生徒数もかなり増加しています。平成35年、6年後には、南箕輪村学校給食センター関係だけですが、約140食増えていくということで、大変な現状だと思います。中学校は3年間、約80食増えます。0歳児が174人となっていますので、平成35年のピークに向け、あまり減っていかないと思います。今後、教育問題をどのようにしていくのか、教育委員の皆さんのご意見をお聞きしたい。等を述べられた。

(2) 教育委員長

みなさん、あらためましてこんにちは。本日の会議は、現行の教育委員会制度としては最後の総合教育会議になるかと思えます。過日、上伊那の教育委員が集まったの総会・研修会が伊那市で行われました。その懇親会の席である教育委員から、「南箕輪は議会で教育に関しての質問が多くあるようだが、それだけ自由闊達だということだね。」というようなことを言われました。私も、教育委員長という立場になって振り返ってみますと、毎回、村長さんに次いで答弁に立っているように思います。議員の皆さんもしっかり勉強されていますので、教育委員会もそれ以上に勉強しなければという想いです。今年も6月に各校2名の先生と教育委員で、いわゆる全国学力テストで常に上位を占めている富山市内の小中学校の視察に行っていました。教育委員ばかりでなく、参加された先生方も大変多くの事を学んでくることができ、本当にありがたい視察であったと感謝しています。学力問題や不登校問題等を考えるときに、今までの殻の中だけで考えるのでは解決方法がなかなか見えないことがあります。よその先進地を視察することで新しい発想が生まれ、新たな解決策が見つかりそうだと感じています。是非、今後もこうした制度については充実していただければありがたいと思っています。いよいよ「南箕輪村こども館」の建設も始まり、平成28年度も本格的に始動しています。今日は、今後の南箕輪村の教育にあり方等について、村長さんからご示唆をいただければありがたいと思っています。等を述べられた。

3. 協議事項

(1) 給食センターについて

<村長>

では、「協議事項(1)「給食センター」について」をお願いします。

<教育次長>

「平成28年度 第1回総合教育会議資料 No.1」について説明。

南箕輪村学校給食センター施設の計画検討結果です。6月22日(水)に行われました南箕輪村学校給食センター運営委員会の検討結果は、1,400食の対応が可能な施設が望ましいという結論になりました。検討項目に沿って検討をしました。1階建がいいのか2階建がいいのか、現センター施設以外がよいのか。検討指標として、費用(財政面)、給食提供(運営面)、ランニングコスト等を検討・比較してみました。ランニングコストは、すべて不明となっています。今、考えられる「2 現センター施設以外学校用地内」は、玄関前中央廊下西側の中庭ですが、道路との高低差があるため給食の搬入出が「×」となっています。教育委員会検討結果は、いくつかの検討項目と指標が考えられ、費用対効果(ランニングコストを含む)をはじめ専門的な見地や判断が必要であるので、教育委員会としては、検討項目「1 現センター施設地」・「2 現センター施設以外学校用地内」を基本に、平成28年度第1回総合教育会議にて、平成29年度予算にプロポーザル方式による提案型の設計費用の計上を村長に要請するという結論になりました。よろしくお願

します。

<村長>

今は、何食、作っていますか。

<教育次長>

約 1,330 食です。

<村長>

この 1,330 食が限界を超えているということですね。中学校だけで 80 食増える時がありますので、1,400 食を超えます。先生方の人数も増えますので、約 1,400 食として、この中に転入者が入っていませんからね。0 歳児が 180 人から 190 人になっていますので、いろんなことを考えなければなりません。1,450 食を見越していかないといけません。人数の推移から 1,450 食がよいと思います。南部小学校は除かれています、ランチルームはもう無理ですね。何年か先になりますと 240 人となりますので、とても無理です。そのへんもしっかり検討をして、1,450 食を確保していかないといけません。中学校のピークが、平成 32 年か 34 年頃でなから 540 人だと思います。今、約 450 人で、80 食増えることは確実です。平成 29 年度予算にプロポーザル方式による提案型の設計費用の計上をということですが、まず、どこへ建てるかですね。現行の施設を増築すれば済むのか、実は昨日、現場を見にいってきました。中学校北側の用地も買収しなければなりません。南箕輪小学校のグラウンドの広さは、現状のままでいいということですね。

<教育長>

運動会以外は、十分な面積があります。

<村長>

専門家を入れてという方法がいいのか、検討をしていかなければと思います。基本的には、給食を提供していくということで、弁当となると、弁当を持ってくる子と、持って来ない子が出てきますからね。弁当は、大変です。

<教育委員長>

弁当は、とても無理です。

<村長>

財政面を考えながらということになりますが、学校給食センターは補助金制度がありませんか。

<教育次長>

確認してみます。

<村長>

5~6 年先の問題ですが、急がなければなりません。教育委員会から話があるまで、正直なところ学校給食センターのことはまったく考えていませんでした。

<教育長>

申しわけございませんでした。中学校も 35 人学級で、理科室が足りなくなっていました。

<職務代理者>

村内をみても、住宅の造成地が増えています。

<村長>

今の0歳児をみても、そんなに減らないと思います。0歳児が180人くらいになり、これからもこのペースでいくと思います。そういったことを考えますと「教育は待った」というわけにはいきませんので、お金がかかってやらなければなりません。住宅の移転を粘り強くお願いしながら、教育委員会でも検討をしてください。学校給食センターの東側の物を動かして、道路の付け替えをと思って、昨日、現場を見てきました。擁壁も直せばグラウンドも広くなると思います。それが一番、お金がかからないと思います。東側の遊具も移してグラウンドにしていけば、かなり広くなると思います。

<教育長>

38人のアレルギー食の場所を確保すれば済むと、あまく見ていました。

<村長>

来年、本格的な検討をしていくということをお願いしたいと思います。

<教育長>

いくつかの案を考えてみたいと思います。

<村長>

来年度予算は、骨格予算になりますので、本予算を組む時にお願いしたいと思います。一カ月のブランクができてしまいます。来年の5月臨時議会で、本予算をかけます。基本は財政的な面で、増築を考えていただければと思います。学校施設と離れない方がいいと思います。近い将来に向けて、平成34年～35年に向けて、それまでに南部小学校の増築を考えています。郷土館・村公民館は延ばさざるを得ないと思います。南部小学校は、70人ということで、当面2教室ということでもいいですね。

<教育長>

特別支援学級がどうなるかですが。

<村長>

教室が広いので、区切って使用することも考えて検討をしてください。平成29年度設計、平成30年度建築ということをお願いします。財政の心配ばかりしていかなければなりません。また、中学校の用地は譲っていただくようお願いしていかなければなりません。これから10年は人口が減りませんから、2040年まで、教育委員会で「南部小学校」・「南箕輪村学校給食センター」・「南箕輪中学校」の設計年度、建築年度のスケジュールを立ててください。それから、供用開始年度を予算編成時期までに作っておいてください。南部小学校は、1億2千万円か1億3千万円をみればと考えています。平成29年度で、南箕輪小学校の図書館を普通教室にしていくということで、施設関係は4つあるということになります。まだまだ増えることを予想しながら、見ていく必要があります。よろしくお願いします。

(2) 教員住宅（土地・建物）について

< 村長 >

では、(2)「教員住宅（土地・建物）について」をお願いします。

< 教育次長 >

2枚目の資料「平成28年度第1回総合教育会議資料No.2」を、お願いします。村や村教育委員会の評価委員会からは、縮小から段階的廃止が妥当であり、アパート等の斡旋などを検討していくようにとの指摘を以前からいただいています。ご覧のとおり、各施設の入居状況（過去5年）は半分以下となり、沢尻の校長住宅は賃借料が年間936,000円となっています。北殿教員住宅（一戸建）5棟・大泉教員住宅（共同住宅）6戸・沢尻校長住宅（一戸建）の教育委員会検討結果は、「教員住宅については、村行政評価、教育委員会事務事業評価の結果とともに、現在の利用状況を踏まえ、原則利用廃止とし、今後の利活用について検討していく。」との結論に至りましたので、村長に報告をさせていただきます。

< 村長 >

契約はどうなっていますか。

< 教育次長 >

大泉教員住宅用地は、賃貸借の期間は、平成6年4月1日から平成36年3月31日までの30年間となっていて、双方よりなんらかの申入れがないときは、この契約は更新継続されることになっています。買取特約と返還の条件があります。買取特約は、賃貸借物件を売却したい旨の申入れがあったときは、協議の上その時の付近の更地通例取引相場の時価をもって買取ることになっています。また、返還の条件は、賃貸借物件を返還する場合は、協議の上費用負担と責任において原状に復するか、そのまま返還することになっています。沢尻校長住宅は、賃貸借の期間が平成8年4月1日から平成39年3月31日までの30年間となっています。やはり買取特約と返還の条件があります。買取特約は、賃貸借物件を売却したい旨の申入れがあった時は、協議の上その時の付近の更地通例取引相場の時価をもって、買い取ることになっています。返還の条件は、協議の上、費用負担と責任において原状に復することになっています。今後、条件付きですので買取りになるのか等、検討していきたいと思います。

< 村長 >

沢尻校長住宅は、早急をお願いします。北殿教員住宅は、2人が入居しているんですね。村の所有地ですので、どこかで入居の制限をして対応をお願いしたいと思います。とにかく、協議してみてください。退去が終わったら土地の面積の確認をお願いします。

< 教育次長 >

大泉教員住宅は、949㎡です。

< 村長 >

廃止していくということで、事業評価にも出ていますので、入居者・地権者のこともありますが、教育委員会で対応をお願いします。ところで、中学校

の放課後学習はやりますか。

<教育長>

今年は、10月からはじめます。

<村長>

全員が対象になりますか。

<教育長>

3年生の希望者が対象です。

<村長>

問題は、講師ボランティアの確保ですね。

<教育委員長>

小学校でも試行でやろうと思いましたが、講師の確保ができなかったもの
ですから、残念です。

<村長>

単価を上げれば来てくれるんじゃないですか。週、何日やっていますか。

<教育長>

週2日で、1回90分です。

<村長>

その条件なら、小学校も可能ですね。粘り強くボランティアの募集をして
いただきたいと思います。放課後学習希望者には、機会を与えてやりたいと
思います。また、格差の解消をお願いしたいと思います。就学援助費の貸付
についての検討は進んでいますか。

<教育次長>

基準が前年度の所得での判断でよいのかといった問題があります。途中で
転校した場合どのようにするのか等、検討をしています。

<村長>

よろしくお願いします。キャリア教育はしっかりやっていますか。「夢教室」
は、どうでしたか。

<教育委次長>

「普段、見られない子どもたちの姿がみられた。」という先生方の評価を聞
いています。

<村長>

一日、見させてもらいました。子どもたちは、真剣に聞いていましたね。

<職務代理者>

長時間、集中して聞いていましたね。

<村長>

目新しくて、真剣に聞いていたかもしれませんが。

<林委員>

成功例だけでなく失敗例などを聞くことができ、身近に感じられたので
はないでしょうか。

<村長>

子どもたちの評価がよければ、今後、検討していきたいと思います。今回、

トップダウンで決めたことでしたので。私からお聞きしたいことはこれくらいですが。

<教育委員長>

視察研修費用の継続を、是非、お願いします。

<村長>

学力アップにつながるように、お願いしたいと思います。学力だけではありませんが、学力プラス他の要素、例えば「生きる力」とかをお願いしたいと思います。

4. 閉会

<教育次長>

ありがとうございました。予定をしていました時間となりました。以上をもちまして、第1回総合教育会議を閉会いたします。